

大学入学共通テストの 試行調査について

プレテストを徹底分析！

英語（リーディング）

 第一学習社

① 試行調査（プレテスト）から見える「共通テスト」の展望

■ センター試験で出題されていた発音・アクセント、整序問題などは出題されない！

- ・すべての問題が「読むこと」の力を把握する問題となります。
- ・発音・アクセント、適語選択や整序問題などは出題されません。
- ・些末な文法事項など、難易度の高い言語材料に関する出題はありません。

■ さまざまなテキストタイプ（文章形式）が採用される！

- ・「本文」は単なる説明的な文章や物語文ではありません。
- ・伝言メモやウェブサイト、記事など、多様なテキストタイプ（文章形式）が採用されます。
- ・新学習指導要領ではさまざまなテキストタイプを扱うことが求められていますので、それを先取りした出題と考えることもできるでしょう。

■ 「本文」の分量が多いため、「読むこと」に関する「技能」が重要に！

- ・発音・アクセント、適語選択や整序問題などに関する出題がなくなったこともあり、限られた時間内に相当な分量の「本文」を読まなければなりません。
- ・書かれている内容を満遍なく読んでいくのではなく、必要な情報をすばやく読み取っていくような「リーディングスキル」が重要になります。

■ 「思考力・判断力」が問われる！

- ・「共通テスト」では「思考力・判断力」が問われます。
- ・書かれている内容について、「事実」(fact)であるか、意見 (opinion) であるかを見分ける問題など、思考力・判断力を要する設問が見られます。

■すべて選択式の問題であるが、間接的に「表現力」も問われる！

- ・記述式の問題はありませんが、「表現力」を間接的に問う設問が見られます。実際、大学入試センターが発表した資料の中に「英語表現 I」の学習指導要領との対応も書かれています。
- ・具体的には、ディベートやプレゼンテーションをしたり、レポートを書いたりする場面を想定した設問がそれに当てはまります。

■実際のコミュニケーションの場면을想定して出題！

- ・授業でディベートを行う準備として記事を読む場面、プレゼンテーションをする準備として記事を読む場面など、実際のコミュニケーションの場面が想定されています。

2 リーディングの「共通テスト」に向けた対策

■「読むこと」に関する「技能」習得を！

- ・限られた時間内に、必要な情報をいかに効率よく読み取っていくかが重要になります。
- ・必要な情報のみを拾い読みする「スキミング」、要点だけを明らかにしていく「スキミング」、論の展開を明らかにするディスコースマーカーの知識、パラグラフの展開に関する知識など、「速読」につながる「リーディングスキル」を身に着けておくことが必要です。

■多様なテキストタイプの英文に数多くふれ、「意見」と「事実」を見分ける練習も！

- ・それぞれのテキストタイプには特有の書き方（スタイル）があります。それらに数多く接しておくことで十分に慣れておく必要があります。
- ・例えば、インターネット上の「レビュー」は個人の感想を述べるものという性質がありますので、レビューに書かれたものは「意見」と判断してよいでしょう。また、説明的な文章であっても、引用符付きで示された個人の発言はその人の「意見」と判断できることが多いでしょう。つまり、「意見」を述べるために特有のテキストタイプがあるということに着目することも重要です。

■「思考力・判断力・表現力」の養成のためには、授業での言語活動の充実を！

- ・「思考力・判断力・表現力」が問われるということは、従来型のリーディング・コンプリヘンションの学習だけでは不十分でしょう。
- ・単に「読む」練習ばかりではなく、「事実」か「意見」かを見分ける活動などを通じて、思考力・判断力を鍛える練習が重要になるでしょう。
- ・「表現力」の面では、ディベートやプレゼンテーション、レポートを書くといった、実際のコミュニケーション場면을想定した出題がなされるという点で、教室でさまざまなコミュニケーション活動を行っておくことは有用でしょう。
- ・場面設定の文や問いの文もすべて英語で書かれますので、授業において英語で言語活動を行っておくことはこうした面からも重要です。

3 リーディングの問題構成

| | テキストタイプ | 語数 | Readability | CEFR レベル | 設問数 |
|---------|-------------------------|-------------|-------------|----------|-------|
| 第 1 問 A | 伝言メモ | 111 words | 6.6 | A1 程度 | 全 2 問 |
| 第 1 問 B | ウェブサイト (告知記事) | 213 words | 8.7 | A2 程度 | 全 3 問 |
| 第 2 問 A | ウェブサイト (レシピ, レビュー・コメント) | 242 words | 3.9 | A1 程度 | 全 5 問 |
| 第 2 問 B | 記事・コメント | 256 words | 6.3 | A2 程度 | 全 5 問 |
| 第 3 問 A | ブログ | 186 words | 6.3 | A1 程度 | 全 2 問 |
| 第 3 問 B | 雑誌記事 | 307 words | 9.3 | A2 程度 | 全 3 問 |
| 第 4 問 | 記事・グラフ | 479 words | 9.8 | B1 程度 | 全 5 問 |
| 第 5 問 | 雑誌記事 (伝記) | 532 words | 12.0 | B1 程度 | 全 4 問 |
| 第 6 問 A | 記事 | 529 words | 11.3 | B1 程度 | 全 4 問 |
| 第 6 問 B | 記事 | 479 words | 9.5 | B1 程度 | 全 4 問 |
| | 合計 | 3,334 words | 9.1 | | |

4 リーディングの設問別問題分析

- ・この問題分析は2018年11月に実施された試行調査についてなされたものです。
- ・分析は第一学習社編集部が行いました。

第1問A

【テキストタイプ】伝言メモ
【Readability】6.6

【語数】111 words
【CEFR レベル】A1 程度

梗概：留学生のお別れ会に関するALTの先生からの伝言メモ。

◆問われる知識・技能◆

与えられた伝言メモ自体は平易な英語で書かれたものであるが、スキミング的技術を用いることでスムーズに解答できる。

問1：設問文の ask Yasmin に注目する。この内容に関して本文を「探し読み」すると、Can you ask Yasmin which day is convenient for her to come to the party and let me know?という記述が見つかる。

問2：問1と同様に、設問文の invite に注目する。この内容に関して本文を「探し読み」すると、is it all right if I invite other students?という記述が見つかる。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問1：本文の which day is convenient for her が、正答の選択肢では when she can attend the party と言いかえられていると判断する。

問2：本文の other students の内容をよく理解して、それが正答の選択肢の a few students who don't belong to the English club であることを判断する必要がある。

第1問B

【テキストタイプ】 ウェブサイト（告知記事）

【語数】 213 words 【Readability】 8.7 【CEFR レベル】 A2 程度

梗概： 姉妹都市との交流イベントへの参加を募る告知記事。

◆問われる知識・技能◆

告知記事というテキストタイプの性質やその文章の展開のしかたに関する知識をもっておきたい。その上で、この告知記事が何を目的として書かれたものなのかを、スキニング的技術を用いて読んでいきたい。

問1： この告知記事の目的についての設問である。新聞記事もそうであるが、この種の告知記事にはタイトルがある。当然のことながら、そのタイトルに告知記事の目的が書かれていると考えることができるため、「…を求める」という意味の call for ... の部分にまずは着目したい。また、本文第2パラグラフ冒頭の We are looking for ... という表現にも注目したい。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問2： Program Schedule 中の traditional dance, traditional food, traditional clothing を総称すると cultures ということになる。この言いかえを判断する必要がある。

問3： 設問文にある a good communication opportunity が本文最後に言及されている使用言語に関することであると判断する。その部分には使用言語が英語であると述べられている。

第2問 A

【テキストタイプ】 ウェブサイト（レシピ、レビュー・コメント）
【語数】 242 words 【Readability】 3.9 【CEFR レベル】 A1 程度

梗概： Meat and Potato Pie の料理レシピとそれに対するレビュー。

◆問われる知識・技能◆

本問でもスキニング的技能が役立つ設問が見られる。

問 2：料理にかかる時間が問われているので、Instructions 中の時間に関する表現をスキニングしていく。cook for ...や bake for ...に続いて書かれている時間を足していく。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問われている内容が本文中で直接言及されているとは限らず、「推測」を要する問題も見られる。また、「事実」と「意見」を見分ける問題は、共通テストで問われる「思考力・判断力」を見る問題の典型と言ってよいだろう。本問の場合には、「事実」を述べた料理レシピの部分と、「意見」を述べたレビュー・コメントの部分に分けられており、それぞれのテキストタイプの性質を把握しておくことが重要である。

問 1：正答の選択肢の enjoy a hot dish on a cold day は本文中に直接の言及は見られない。Instructions の最後の Serve hot.や女性のレビューの... really delicious! ... on a snowy day.を判断根拠とした「推測」が求められている。

問 3：設問文の Someone who does not like raw carrots については本文中に直接の言及はないが、男性のレビューで子供も好きであるというコメントが見られる。その上で、Instructions までで説明されているレシピの特徴を捉える。

問 4：「意見」ではなく「事実」を捉える問題である。選択肢④の very delicious はレビューを書いた女性の意見であり、事実ではない。レビューは個人の意見・感想を述べるものであるということをおさえておきたい。

問 5：「事実」ではなく「意見」を捉える問題である。正答の it is easy to cook は男性のレビュー（It's not at all difficult to make）に見られる彼の意見である。

梗概：フランスの学校では特別な場合を除き、携帯電話の使用が認められなくなった。

◆問われる知識・技能◆

問1：正答の選択肢の *except for special cases* と本文3行目の *without special permission* に着目する。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

ディベートの準備をしている設定で、賛否両論ある話題に関する記事を読むという問題である。ディベートというものがどのようなコミュニケーション活動かを知ってさえいれば、本文が賛否両論ある内容であることを察することができるだろう。また、本問でも「意見」として書かれているものを選択する問題が出題されている。客観的に「事実」として書かれている部分と、個人の発話などに見られる「意見」をしっかりと読み分ける必要がある。

問2：学校での携帯電話の使用を制限すべきであるということを支持する「意見」を選択する問題である。第2パラグラフ冒頭の Jean-Michel Blanquer の “*These days the students don't play at break time anymore. ...*” が彼の意見であることを判断する。

問3：学校での携帯電話の使用を制限すべきであるということに反対する「意見」を選択する問題である。第3パラグラフ冒頭に *However, ...* とあり、第2パラグラフとは異なる見解が述べられている。 *Several parents said, “...”* *Moreover, other parents added, “...”* と、2つの見解が述べられているが、2つ目の最後に述べられた意見が正答の選択肢と一致すると判断する。

問4：問われている “*One must live with the times*” は直訳では意味を把握することはできない。学校での携帯電話使用の制限に反対する立場の人間の発言であることを前提に、該当文の直後の文の内容から判断する必要がある。

問5：この記事についてコメントした人がどのような立場であるかを判断する必要がある。

第3問 A

【テキストタイプ】 ブログ
【Readability】 6.3

【語数】 186 words
【CEFR レベル】 A1 程度

梗概： 留学生が日本の学校の学園祭で経験したこと。

◆問われる知識・技能◆

問1: 第2パラグラフの第3文・第4文の *It's a pity that the weather was bad. If it had been sunny, they could have danced outside.* に注目する。 *It is a pity that ...* という表現や仮定法過去完了の知識がポイントになっている。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問2: 複数の文章とイラストの情報を総合して答える必要があるという意味で、思考力・判断力が問われている。第2パラグラフ第5文の *At lunch time, we ate ...* の文で、さまざまな料理を食べたという記述があり、第3パラグラフ第2文の *Surprisingly, we almost won, ...* という文章からの情報と、男女2人が表彰台の2位の位置にいるイラストの情報から、カラオケ大会で2位になったということを読み取る。

第3問B

【テキストタイプ】 雑誌記事
【Readability】 9.3

【語数】 307 words
【CEFR レベル】 A2 程度

梗概：入院患者に鉢植えの花のお見舞いは好ましくないという日本の文化を知らなかった留学生の行動。

◆問われる知識・技能◆

問1：気持ちを表す形容詞などの表現に関する語彙力が必要である。

問2：第4パラグラフ第2文の This is because ... という理由を表す表現に着目する。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問1：気持ちの変化を丹念に追っていき、本文での表現と選択肢の表現の整合性を判断する必要がある。nervous (本文4行目・選択肢) → having a great time・happy (本文5行目・選択肢) → surprised and upset・shocked (本文8行目・選択肢) → a little puzzled・confused (本文13行目・選択肢) → apologize・sorry (本文最終行・選択肢) といった流れである。

問3：複数のパラグラフを横断して解釈する必要があるという意味で、思考力・判断力が問われている。第3パラグラフ第1文の内容や、続く第4パラグラフの内容から総合的に判断する。

第4問

【テキストタイプ】 記事・グラフ
【Readability】 9.8

【語数】 479 words
【CEFR レベル】 B1 程度

梗概： 娯楽としての読書は生徒たちにとって有用である。娯楽として読書をしている割合は落ちているので、親や先生は生徒たちに良書をすすめるべきだ。／Moore の主張と同様に、読書は生徒にとってさまざまな面で有用である。生徒たちは SNS などのスクリーンを通じた娯楽に費やす時間を減らし、読書習慣を確立すべきだ。

◆問われる知識・技能◆

問4： David Moore の文章においては、第4パラグラフ冒頭の *In my opinion, ...* に注目すると、その文に彼の主張が表れていることが理解しやすい。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

2つの文章それぞれに共通する主張、どちらでも述べられていないこと、片方のみで述べられていることを整理しながら読み進める必要がある。また、グラフの情報の読み取りも重要な要素となる。

問1： 2つの記事のどちらでも述べられていないことを選ぶ設問である。

問2： *librarian* が書いた文章だけでは正答は判断できない。*librarian* の *home country* について述べた第1パラグラフ3文目の文章は *According to David Moore's article, ...* と始まるが、この文章の記述と Moore の記事中のグラフを組み合わせる必要がある。さまざまな資料に照らして考える必要がある思考力・判断力を問う問題である。

問3： 正答はひとつとは限らないので、センター試験のように消去法で解くことは許されず、選択肢それぞれについて思考・判断することが求められている。この設問の場合には、2つの記事で共通して述べられていることに加え、片方のみで述べられていることも正答となる。

問5： 選択式ではあるが、「書く」場面を想定した設問であり、「表現力」が問われている設問であると言える。2つの記事をもとにレポートを書くという設定なので、2人の主張に共通する内容を思考・判断する。

梗概： Benjamin Day（アメリカの印刷業者・ジャーナリスト）は印刷業を始めたが、やがて新聞を創刊するに至る。彼の新聞は安価で、記事の内容は人々の日常生活についてであり、販売方法も変えた。こうした取り組みにより、彼の新聞は成功を収めた。その後、彼はその事業を手放したが、新聞事業における革命的人物として記憶されている。

◆問われる知識・技能◆

この雑誌記事は Benjamin Day という人物について、時間的順序にしたがって書かれた伝記である。したがって、読解のスキルとして時に関する表現に注意して時間的順序の展開を読み取ることが重要である。

問 1：ポスタープレゼンテーション用のポスターを完成させる問題である。本問は時期と出来事をまとめる問題であるので、前述のとおり、本文中の時に関する表現をスキミングしながら情報を読み取るとよい。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

本問もすべて選択式問題であるとは言え、ポスタープレゼンテーション用のポスターをどのように「書く」かを想定した問題である。リーディング問題ではあるが、ふだんの授業において話したり書いたりする言語活動を活発に行っておくことによって、このようなテキストタイプに慣れておきたい。

問 2：正答はひとつとは限らないので、選択肢それぞれについて思考・判断することが求められている。ここでは、Day の新聞が成功した理由を述べている箇所に注意して読み取っていく。

問 3：彼が創刊した新聞の中心となるコンセプトを選ぶ問題であると考えてよい。第4パラグラフの内容を中心に読み取っていく。

問 4：本問も正答はひとつとは限らないので、選択肢それぞれについての吟味が必要である。ここでは、彼の新聞がアメリカのジャーナリズムや社会をどのように変えたかについて述べている箇所に注意して読み取っていく。

梗概：航空機のパイロット不足が顕著であり、女性のパイロットが求められている。女性パイロットが非常に少ない理由としては、女性はパイロットに向いていないというステレオタイプがある。また、安全操縦の問題があるが、これは男女間で有意差はない。男性パイロットのほうがすぐれた技術があると考えられもするが、男女それぞれに得意な点があるだけである。若い世代は女性パイロットの存在を当たり前だと考えるようになるだろう。

◆問われる知識・技能◆

女性の社会進出などについての背景知識をもっていれば読解の助けになるだろう。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問4は本文の要約を選ぶ問題である。これも選択式問題ではあるが、本文の要旨をつかみ、要約文を書く活動などを積極的に行っておきたい。

問1：第1パラグラフ第3文の内容に注目する。

問2：第3パラグラフの内容に注目する。

問3：第4パラグラフ最終文の内容に特に注目する。

問4：female pilots, successful がキーワードである。

梗概： オオカミを見るのに最適なイエローストーン国立公園では、1940年代までに狩猟によってその姿をほとんど見ることができなくなった。オオカミを嫌う牧場主の反対もあったが、この問題を解決するために1990年代にイエローストーンにオオカミを放すことができた。エルクを減らしてオオカミを増やすというプロジェクトは大きな成功だった。オオカミの狩猟が再び認められたが、それによって牧場の動物が襲われることが増えたという研究もある。長期的な視点で、オオカミの数を保っていくために、現在ではオオカミの狩猟制限がある。

◆問われる知識・技能◆

設問のリード文に、world ecological problems とあるが、現代社会の環境問題に関するテーマ背景知識をもっていれば読解の助けになるだろう。

問 1： 設問文の A resulted in B. は、A に原因・理由がきて、B に結果が示される因果関係を表す表現であることに注目する。

問 2： グラフに示された年号と各動物の数に関する表現をスキミングしていくような技能が必要である。

問 3： 英文の論理展開を正確につかむためにはディスコースマーカーに注目して読解するとよい。第4パラグラフ第4文冒頭の As a result, ... は結果をまとめるディスコースマーカーである。ここでは、年代ごとの各動物の数の増減の記述を受けて、その結果として（現在）どのようになったのかが As a result の後に述べられている。As a result を含む文とその後の文に注目することで解答を導き出すことができる。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問 4 は記事のタイトルを選ぶ問題である。第 6 問 A の問 4 と同様に、ふだんから 本文の要旨をつかむ練習などを積極的に行っておきたい。

問 1： 第 2 パラグラフ第 3 文以降の内容に注目する。

5 「大学入学共通テスト」に関する今後の予定

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 2019年 (3月まで) | ・試行調査(プレテスト)の分析結果の公表 |
| 2019年 (4月以降) | ・実施大綱の策定・公表 ・出題教科・科目の策定・公表 |
| 2020年 (4月以降) | ・実施要項の策定・公表(時間割, 出願期間) |
| 2021年 (1月) | ・「大学入学共通テスト」の実施 |

(平成30年12月17日)

本分析資料のほか、他教科・他科目の分析資料(PDF)もダウンロードできます。



 **第一学習社**

広島本社

733-8521 広島市西区横川新町 7-14

TEL 082-234-6800